

事前特別レクチャー・説明会



南三陸町の復興まちづくり支援  
(現地ガイド付き)

人とつながる、視野が広がる

# まなび旅・宮城



登米市民との交流 BBQ



県内最大規模の仮設住宅団地での夏祭りにボランティアとして貢献

宮城県登米市南方町旧イオン跡地仮設住宅団地（以下、南方仮設）の敷地内において、東北復興のシンボルとなる夏祭りが8月20日(火)に予定されています。この夏祭りにボランティアとして、そして参列客として参加しませんか？しかも、今回は「まなび旅」ということで、事前特別レクチャーや、南三陸町の復興まちづくり支援（現地ガイド付き）も旅程の中に含まれています。

8/18(日)～21(水)

参加費

一般 ￥29,800  
会員 ￥26,820

応募締め切り 8月10日(土)

募集人員 25名

申込み先

HSF 事務局  
<manabitabi@hsf.jp>

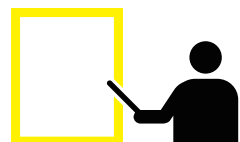
※件名に「HSF まなび旅参加希望」とご記名の上、  
①お名前、②ご住所、③緊急連絡先④生年月日をお知らせください。お支払い方法等は参加希望者の方への返信メールで改めてご案内します。

交通費、宿泊費、受講料、旅行傷害保険費、現地アテンド料込み  
交流バーベキュー、朝食券（2回分）、夏祭り飲食チケット1000円分付き

チケット代1000円は、夏祭り主催側の売り上げとして、仮設住宅で暮らす人々に還元されます。

DIGNITY  
HSF とは？

東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム（HSP：Human Security Program）の教員と学生の有志が中心となって2011年4月に設立されたNPO法人です。大学という枠組みを越えて、広く公共領域における人間の安全保障に関する実践（人ひとりひとりの命・生活・尊厳を守る）を目指しています。現在の主な活動として、宮城県の被災地域における教育復興支援や東京都内での国際協カイベントの開催などに取り組んでいます。ホームページ：http://www.hsf.jp/



事前特別レクチャー・タイトル：

『ボランティアツーリズム—震災復興と公共人類学』



講師紹介：

山下晋司（やましたしんじ）

NPO 法人「人間の安全保障」フォーラム理事長。東京大学名誉教授、帝京平成大学教授。専門は文化人類学。

トランスナショナルリティ（越境）という視点から、観光や移住といったテーマを取り上げ、グローバル化にともなう新しい社会の展開や文化の生成について研究している。移民政策、シティズンシップ、人権の問題にも関心をもっている。著書に『バリ—観光人類学のレッスン』（東京大学出版会、1999年）、『観光人類学の挑戦—「新しい地球」の生き方』（講談社、2009年）など。

## 旅行プラン

- |     |  |
|-----|--|
| 18日 | 午後1時～4時30分 事前特別レクチャー・説明会<br>場所 東京大学駒場キャンパス18号館4階コラボレーションルーム3                 |
| 19日 | 午前9時 東京大学駒場キャンパス正門前に集合し出発<br>夕方 宮城県登米市到着 ※宿泊場所「迫ふるさと交流館」<br>登米市民との交流 BBQ（夕食） |
| 20日 | 午前 南三陸町の復興まちづくり支援 @ 歌津（現地ガイド付き）<br>午後 祭り準備ボランティア<br>午後5時～8時 夏祭り              |
| 21日 | 午前 祭り片付けボランティア・仮設住宅住民との交流会<br>午後1時30分 登米市出発<br>夜 東京大学駒場キャンパス正門前に到着（解散）       |

東京⇄登米のバス内でゼミ形式のディスカッションも行います！

※旅程が変更になる場合がございます。



祭り開催予定地となる南方仮設。350戸の仮設住宅が建造され、多くの南三陸町出身の被災者の方々が暮らす、県内有数の大規模仮設住宅です。



巨大防潮堤の建設が議論されている南三陸町歌津。写真は津波によって破壊された歌津大橋の様子です。



迫ふるさと記念館。参加者の皆様に泊まって頂く予定の施設です。